

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 ゼビオ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 諸橋 友良

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員

(氏名) 中村 和彦

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 024-925-2510

平成21年12月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	81,921	11.1	5,775	6.4	6,364	5.7	3,650	9.6
21年3月期第2四半期	73,759	—	5,428	—	6,022	—	3,330	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	81.14	—
21年3月期第2四半期	72.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	135,616	92,038	67.9	2,044.70
21年3月期	138,663	88,795	64.0	1,979.57

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 92,038百万円 21年3月期 88,737百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	15.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	169,109	9.7	11,598	7.6	12,792	6.8	7,654	25.4	170.05

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 47,911,023株 21年3月期 47,911,023株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 2,897,847株 21年3月期 3,084,571株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 44,986,566株 21年3月期第2四半期 45,826,829株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照して下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)におけるわが国経済は、企業業績で一部持ち直しが見られるものの、全体としては低迷が続き、雇用、所得環境も一段と厳しさを増し、依然として景気の後退局面から抜け出せない状況にあります。

スポーツ用品販売業界におきましても、先行きの生活不安からくる個人消費における節約志向はさらに強まり、客単価の下落が続き、厳しい環境となっています。

このような状況下、当社グループは、期初に掲げたグループシナジーの拡大とスポーツ専門店らしさを追求した革新的な出店政策を着実に実行するとともに、経営の効率化をさらに進め、攻めと守りの経営を同時に進めてまいりました。既存店売上高は前年同期間を下回ったものの、店舗の営業時間の適正化やシフトコントロールによる人件費の削減、テレビCMなど広告宣伝の見直しを中心に経費の節減を着実に実践し、増収増益を確保いたしました。

プライベートブランド商品の開発・販売についても、低価格でありながら、機能性の高さ、素材の良さを兼ね備えた商品を軸とした展開で、着実に実績を伸ばしております。

また、お客様の利便性を高め、幅広いゴルファーに支持される店舗を目指し、ヴィクトリアゴルフ店内にゴルフパートナー店舗をインショップとしてオープンし、新品から中古クラブまで、ビギナー向けから中上級者向けモデルまでのあらゆる品揃えを充実させた新たな複合店舗の展開も開始いたしました。同店舗では来店されるお客様が大幅に増え、好調なスタートをきっております。さらに一部地域においてゴルフ専門店「G.O.1」を、ゴルフショップブランドとして認知度が高い「Victoria Golf」に変更するブランドの統合についても検討を開始しました。

出退店の状況につきましては、積極的な出店を継続し、スーパースポーツゼビオ4店、ゴルフパートナー10店を出店するとともに、G.O.1からヴィクトリアゴルフへのブランド変更を1店舗で実施し、スーパースポーツゼビオ2店、ヴィクトリアゴルフ4店の閉店を行いました。これにより、当第2四半期末における当社の店舗数は146店舗となり、(株)ヴィクトリアの60店、(株)ゴルフパートナー直営店76店、(株)フェスティバルゴルフ5店を含めグループの総店舗数は287店舗となりました。グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて1,661坪増加して131,050坪となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高81,921百万円(前年同期間比11.1%増)、営業利益5,775百万円(前年同期間比6.4%増)、経常利益6,364百万円(前年同期間比5.7%増)、四半期純利益3,650百万円(前年同期間比9.6%増)となりました。

主な商品部門別の概況は次のとおりであります。

①ゴルフ用品・用具部門

ゴルフクラブの売上については、新製品の発売が少なく、より価格の低い商品の販売構成比が上昇することで商品単価が下落し、低調に推移いたしました。しかしながら、レディスゴルファーをはじめゴルフのプレイ人口は増加に転じ、プレイ環境が底堅く推移していることから、ウェア、小物の販売は堅調に推移しております。以上の状況と合わせて、(株)ゴルフパートナー、(株)フェスティバルゴルフが連結加入したことにより、ゴルフ全体の売上高は前年同期間比33.6%の増加となりました。

②アスレチックスポーツ、トレーニングウェア部門

トレーニングウェアについては、アパレル業界全体で低価格商品が台頭したことから商品単価が下落し、販売は低迷しました。一方、アスレチックスポーツ部門では、野球、サッカーといった競技の人气が上向していることから、チームスポーツ用品を中心に好調に推移いたしました。さらに商品構成を見直すことで客層も拡大傾向にあります。また、健康志向からランニング需要も定着化しており、シューズや機能ウェアの販売も堅調に推移しております。以上の結果、アスレチック部門の売上高は前年同期間比5.5%の増加となりました。

③アウトドア・その他部門

梅雨明けが大幅に遅れ、夏季は気温が低かったため、マリンレジャー用品の販売は低調でしたが、登山をはじめとするアウトドアスポーツの人气は堅調であり、トレッキング用品、キャンプ用品販売では、目的別の販売を行うことで客単価も上昇し、売上は好調に推移しました。以上の結果、アウトドア用品・その他部門売上高は前年同期間比3.5%増加しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,046百万円減少し135,616百万円となりました。主な要因としては、商品の減少などにより前連結会計年度末に比べ流動資産が1,651百万円減少し65,721百万円となったことと、投資その他の資産が1,404百万円減少し、固定資産が前連結会計年度末に比べ1,395百万円減少し69,894百万円となったことによりです。

当第2四半期の負債の部は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ6,290百万円減少し、43,578百万円となりました。また、純資産の部は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が2,977百万円増加したことなどにより、92,038百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期は前第2四半期と比較して、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも増加いたしました。売上高、四半期純利益は計画には及ばなかったものの、営業利益、経常利益は計画に達し、想定した範囲で推移しており、通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,572	11,195
受取手形及び売掛金	8,832	8,164
有価証券	—	2,000
営業貸付金	2,565	2,072
商品	36,849	40,377
繰延税金資産	1,050	1,014
その他	4,287	2,859
貸倒引当金	△436	△309
流動資産合計	65,721	67,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,155	32,393
減価償却累計額	△17,676	△16,753
建物及び構築物(純額)	15,479	15,640
土地	14,983	15,146
建設仮勘定	232	315
その他	10,527	9,931
減価償却累計額	△6,428	△6,043
その他(純額)	4,099	3,888
有形固定資産合計	34,794	34,990
無形固定資産		
のれん	5,615	5,551
その他	2,283	2,142
無形固定資産合計	7,898	7,694
投資その他の資産		
投資有価証券	665	627
長期貸付金	99	98
繰延税金資産	2,167	2,138
差入保証金	8,845	9,249
敷金	11,611	11,616
投資不動産	5,260	5,298
減価償却累計額	△2,907	△2,961
投資不動産(純額)	2,352	2,336
その他	1,564	2,644
貸倒引当金	△104	△105
投資その他の資産合計	27,201	28,605
固定資産合計	69,894	71,290
資産合計	135,616	138,663

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,552	34,132
短期借入金	1,130	1,200
1年内返済予定の長期借入金	434	448
未払法人税等	2,555	1,796
賞与引当金	806	797
役員賞与引当金	7	15
ポイント引当金	1,884	1,920
その他	5,890	5,632
流動負債合計	39,261	45,942
固定負債		
長期借入金	274	492
繰延税金負債	116	116
退職給付引当金	165	114
役員退職慰労引当金	64	58
負ののれん	872	1,305
その他	2,823	1,837
固定負債合計	4,316	3,925
負債合計	43,578	49,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,096	16,110
利益剰余金	65,107	62,129
自己株式	△5,161	△5,493
株主資本合計	91,979	88,682
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67	44
繰延ヘッジ損益	△8	10
評価・換算差額等合計	59	54
少数株主持分	—	57
純資産合計	92,038	88,795
負債純資産合計	135,616	138,663

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	73,759	81,921
売上原価	45,411	50,741
売上総利益	28,348	31,179
販売費及び一般管理費	22,919	25,404
営業利益	5,428	5,775
営業外収益		
受取利息	91	57
受取配当金	10	6
不動産賃貸料	469	392
負ののれん償却額	432	433
その他	94	116
営業外収益合計	1,098	1,005
営業外費用		
支払利息	—	14
不動産賃貸費用	445	391
その他	58	11
営業外費用合計	504	417
経常利益	6,022	6,364
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	6
特別利益合計	2	6
特別損失		
固定資産除却損	41	29
減損損失	25	315
店舗閉鎖損失	271	35
投資有価証券評価損	276	—
その他	29	—
特別損失合計	645	380
税金等調整前四半期純利益	5,379	5,989
法人税、住民税及び事業税	2,317	2,407
法人税等調整額	△268	△68
法人税等合計	2,048	2,339
四半期純利益	3,330	3,650

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	34,974	38,716
売上原価	21,626	24,166
売上総利益	13,347	14,550
販売費及び一般管理費	11,232	12,591
営業利益	2,115	1,959
営業外収益		
受取利息	44	28
受取配当金	0	0
不動産賃貸料	229	206
負ののれん償却額	216	216
その他	43	58
営業外収益合計	533	509
営業外費用		
支払利息	—	6
不動産賃貸費用	219	207
その他	57	5
営業外費用合計	277	220
経常利益	2,371	2,248
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	11	24
減損損失	25	289
店舗閉鎖損失	212	30
投資有価証券評価損	276	—
その他	29	—
特別損失合計	556	344
税金等調整前四半期純利益	1,815	1,908
法人税、住民税及び事業税	1,141	1,002
法人税等調整額	△498	△305
法人税等合計	643	696
四半期純利益	1,172	1,211

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,379	5,989
減価償却費	1,587	2,035
減損損失	25	315
のれん償却額	—	204
負ののれん償却額	△432	△433
貸倒引当金の増減額(△は減少)	154	124
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	9
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△7
ポイント引当金の増減額(△は減少)	34	△36
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44	51
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	5
受取利息及び受取配当金	△101	△63
支払利息	—	14
固定資産除却損	41	29
投資有価証券評価損益(△は益)	276	—
売上債権の増減額(△は増加)	△656	△668
営業貸付金の増減額(△は増加)	△431	△493
たな卸資産の増減額(△は増加)	52	3,528
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,051	△7,580
未払金の増減額(△は減少)	169	△360
その他	△232	74
小計	△141	2,740
利息及び配当金の受取額	52	11
利息の支払額	—	△14
法人税等の支払額	△2,176	△1,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,265	1,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△3,540	△1,508
有形固定資産の売却による収入	—	808
有形固定資産の除却による支出	△32	△10
無形固定資産の取得による支出	△623	△359
敷金及び保証金の差入による支出	△512	△213
敷金及び保証金の回収による収入	545	642
投資有価証券の取得による支出	△50	—
預り保証金の返還による支出	△34	△33
子会社株式の取得による支出	—	△6
その他	20	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,728	△589

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△70
長期借入金の返済による支出	—	△231
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△151
配当金の支払額	△692	△672
その他	4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687	△1,126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,681	△622
現金及び現金同等物の期首残高	28,880	13,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,199	12,572

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

一般小売事業部門の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

一般小売事業部門の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。